

## □ 要請番号 (JL10618B05)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
フィジー	H114 理学療法士		個別	交替 3代目	2年	・2019/1・2019/2・ 2019/3



## 【配属機関概要】

## 1) 受入省庁名 (日本語)

保健・医療サービス省

## 2) 配属機関名 (日本語)

国立リハビリテーション病院

## 3) 任地 (スバ市タマブア地区) JICA事務所の所在地 (スバ市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで約 0.5 時間)

## 4) 配属機関の規模・事業内容

首都近郊にあるフィジー唯一のリハビリ専門病院で、ベッド数は20床。理学療法士(PT)2名、医師、看護師、義肢装具士が勤務する他、地域リハビリテーション担当スタッフを擁する。患者は主に基幹病院からの転院で、長期療養が必要な患者の治療が行われている。過去にも理学療法士JVが活動した実績があり、同僚PTと共に患者のケアにあたった。2014年には、フィジー全土を対象に地域巡回によるCBR(Community Based Rehabilitation)への取り組みが始まった。保健省の予算の他、WHO(世界保健機関)からの支援も受けている。

## 【要請概要】

## 1) 要請理由・背景

フィジーでは、生活習慣病を中心とした非感染症(NCD)が課題であり、糖尿病による下肢切断の他、脳卒中、脊髄損傷など、理学療法が求められる場面は多いが、療養は主に病院で行われており、退院後のケアは十分ではない。また、PTが病院で活動するのに対し、地域におけるケアは、十分な理学療法の知識を持たない地域看護師やCRAが担っており、質の高いケアが難しいという状況がある。配属先は、基幹病院からの転院患者を中心に治療を行ってきたが、CBRの重要性に対する認識が徐々に高まり、2014年から、地域巡回プログラムを開始した。これにより、CRAによる訪問リハが医師の指導の下で行われるようになり、医師・看護師・理学療法士がチームとなりフィジー全土の巡回訪問を実施している。この訪問にJVが同行することにより、訪問内容の充実やCRAの技術・知識の向上が期待されている。

## 2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

配属先の職員および各地域のCRAと共に以下の活動を行うことが期待されている。

- 1.配属先の行う地域リハビリテーションプログラムを支援し、各地のCRAと共に訪問リハビリテーションを実施。訪問リハの質の向上や、業務を通じたCRAへの指導を行う。
- 2.CRAや同僚理学療法士に対するワークショップ等を行い、知識・技術の向上を支援する。
- 3.必要に応じ、配属先病院内の患者に対する理学療法を行う。

## 3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

車いす、歩行器、松葉づえ等

## 4) 配属先同僚及び活動対象者

医師 1名

理学療法士 2名(40代女性1名、20代女性1名)  
CRAコーディネーター 1名  
CRA:首都近郊に4名、他、各地域に複数名  
その他、看護師、義肢装具士、運転士等

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

その他

7) 選考指定言語

## 【資格条件等】

[免許]：(理学療法士)

[学歴]：( ) 備考：

[性別]：( ) 備考：

[経験]：(実務経験) 3年以上 備考：同僚等への指導のため

### 任地での乗物利用の必要性

不要

## 【地域概況】

[気候]：(熱帯雨林気候) 気温：(20~35°C位)

[電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水道]：(安定)

## 【特記事項】

※配属先から提供される住居に同性のJVと2、3人で同居となるか、もしくはホームステイになる可能性がある。